

ご利用にあたって(令和7年度版)

社会福祉法人あしかび
認定こども園かさきこども園

時下ますご清聴のことお及び申し上げます。

平素から認定こども園かさきこども園(以下「園」という)の運営に関しまして、なにかとご理解とご協力をいただき、御礼申し上げます。さて、園を利用するにあたりまして、ご案内やお守りいざなぐ事項について、以下のとおりご熟考いたします。

1. 教育・保育を提供する日について

お住まいの市町村から受けた支給認定区分ごとに、以下のとおり利用可能日(休園日)が異なります。

認定区分	対象者	休園日
1号認定子ども	満3歳以上の小学校就学前児童のうち、2号認定子ども以外の児童	土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始(12/28~1/3)、春・夏・冬期の長期休業日、停電を伴う点検日、行事の振替休日※(注)
2号認定子ども	満3歳以上の小学校就学前児童のうち、保育を必要とする児童	日曜日、祝祭日及び年末年始(12/28~1/3)、お盆(8/12~14)、年度末(3/31)、停電を伴う点検日、行事の振替休日
3号認定子ども	満3歳未満で保育を必要とする児童	

(※注)土曜日でも、保育が必要な場合は時間外保育を利用することもできますのでご相談ください。

なお土曜日の延長保育(18:30~19:00)は実施しておりません。

2. 教育・保育を提供する時間について

お住まいの市町村から受けた支給認定区分ごとに、以下のとおり利用可能な時間帯が異なります。

認定区分	教育・保育時間	利用可能時間
1号認定子ども	教育標準時間 (標準時間程度)	9時~13時(※注1)
2号認定子ども	保育標準時間	7時30分~
3号認定子ども	保育標準時間 (最大11時間)	18時30分(※注2)
2号認定子ども	保育時間	9時~17時(※注3)
3号認定子ども		

(※注1)9時より前もしくは13時を超過して保育を必要とされる場合は、時間外保育を利用することもできますのでご相談ください(別途利用料負担が必要となります)。

(※注2)7時30分から18時30分までの範囲内で、保育を必要とする時間となります。なお、上記以外の時間帯において、やむを得ない理由により保育が必要な場合は、18時30分~19時までの範囲内で、延長保育を提供いたします(延長保育の利用にあたっては、保育料の他に、別途利用料負担が必要となります)。

(※注3)9時から17時までの範囲内で、保育を必要とする時間となります。なお、上記以外の時間帯において、やむを得ない理由により保育が必要な場合は、7時30分から17時まで又は17時から18時30分までの範囲内で、時間外保育を提供いたします(時間外保育の利用にあたっては、保育料の他に、別途利用料負担が必要となります)。

(1)保育必要時間の範囲や土曜日保育の利用について

◎すべて前月20日までに申請書の提出が必要です。

①保育標準時間認定2・3号認定子どもの保育必要時間は勤務時間+通勤時間となります。

9:00以前、17:00以後のご利用を希望される場合は、保育必要時間申請書及び延長保育利用申請書を前月20日までに提出の上、内容を確認し、利用の開始となります。許可された時間を超えた場合は1回に付き100円の時間外保育料が発生します。また18:30:31を超えた場合は1分につき16円+100円。

②土曜日保育利用につきましては、保育標準時間認定2・3号認定子どもの保育必要時間は勤務時間+通勤時間となります。保育必要時間申請書を前月20日までに提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。許可された時間を超えた場合の取扱は①と同じ

です。

(2)時間外保育や延長保育の利用について

◎すべて前月20日までにそれぞれ申請書の提出が必要です。

①教育標準時間認定子どもにかかる時間外保育料金について

-7:30~9:00までの場合 月額 3,000円 1回300円

17:01~18:30までの場合 月額 3,000円 1回300円

ご利用を希望される場合は前月20日までに保育必要時間申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

*許可された保育必要時間を超えた場合 1回100円 18:31を超えた場合 1分につき16円+100円

②保育標準時間認定子どもにかかる延長保育料金(月・金)

-18:31~19:00までの場合 月額 2,000円

ご利用を希望される場合は前月20日までに延長保育事業用申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

*19:01を超えた場合 1分につき16円+100円

③保育時間認定子どもにかかる時間外保育料

-7:30~9:00までの場合 月額 3,000円 1回300円

17:01~18:30までの場合 月額 3,000円 1回300円

ご利用を希望される場合は前月20日までに保育必要時間申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

*18:31を超えた場合 1分につき16円+100円

◎保育必要時間申請書を園に前月20日までに提出し、事実確認後翌月1日より許可となります。なお、虚偽記載や詐欺用の譲渡、不正利用が見られた場合には、証明された事業所等に事実確認し、許可を取り消す処置をとりますので、充分にご留意ください。



3. 登録園園の送迎などについて

①登録園園の送迎は原則保護者がない、直接担当保育教諭にお預けください。保護者が出来ない場合は、園児緊急連絡係の送迎者様に送迎者の氏名と記入して下さい。送迎者は保護者に代わり法的に責任能力を有する成人に限ります。また、緊急時にそなえ、園児緊急連絡係の事実に基づいた情報を記載し、提出して下さい。担任までの道順や園児緊急連絡係の提出がない場合はトラブルにつきましては、園は一切の責任を負いませんので、速やかな対応をよろしくお願ひします。

②受け入れ前やお出迎え後、階段や廊下、保育室など、子どもだけにしつこいくだり、万一双目や手が発生しても、園は一切の責任を負いません。また園の服装や鞄等の物が見つかった場合はその損害を賠償していくべきです。

③受け入れ時にお子さんの様子や連絡事項を担当保育教諭にお話ください。突然(37.5℃以上)や、休園不良や感染症を疑われる場合は受け入れできませんので、ご承知おきください。長い川は危険です。伸びている川は必ず切っておいてください。

④どうぞ園の場合は医療情報についてお聞きください。園の場合は医療情報についてお聞きください。

⑤園児緊急連絡係に記載されている方が送迎される場合は、予め担任までお知らせください。(小学生など責任能力のない方の送迎は園に依頼いたします。)

⑥入口門扉の閉開は必ず保護者自身で行ってください。

⑦園前の道路は通常歩行者で走行されています。横断歩道や歩道や島居前などは駐車しないようにしてください。交通事故のないよう、お車の運転マナーに十分お気をつけてください。道路をはさんだ西側に駐車場があります。5番、6番、9番、10番をご利用ください。なお、運転中並びに駐車時の事故やトラブル等におきましては、園は一切の責任を負いません。

4. 欠席取扱について

・欠席の場合は必ず園にご連絡ください。園ホームページからも連絡できます。

<https://www.ashikabi.jp/>

・鳥取県により長期欠席される場合は前もってご連絡ください。この場合でも保育料等は必要となります。

①学校保健安全法で規定している学生疾患について

インフルエンザ、麻疹、水痘、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、流行性角膜炎、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、ヘルペス、手足口病などの場合、出席停止の措置をとります。再登園には医師による意見書が必要になります。

②園の場合は医療情報についてお聞きください。園の場合は医療情報についてお聞きください。

- 1 -

- 2 -

で、かねて医療機関の診察票に記入の依頼をしてください。

その他に分類される「とひり」につきまして、医療機関にて感染予防の処置を行った上の発圈許可となります。

②インフルエンザについて

感染力が強く、容易に集団感染を起こします。症状が見られたら、早めに受診してください。発症した後5日を経過して、かつ熱が下がって3日を経過してからの再登園となります。必ず「発圈に関する意見書」が必要です。

③感染性胃腸炎について

感染力が強く、容易に集団感染を起こします。症状が見られたら、早めに受診してください。園内で嘔吐、下痢症状が見られましたら、ご家族の方に直ちに連絡をします。出来る限り早くのお迎え、受診へのご協力をお願いします。感染予防のため、吐物や下痢便で汚れた衣服等は、そのまま返却いたします。嘔吐・下痢症状が治まり、普段の食事が出来ることが再登園の目安となります。再登園には必ず「発圈に関する意見書」が必要です。

④新型コロナウイルスについて

監督官庁からの最新の指針に従った対応をお願いいたします。

5. アレルギー等について

「登録園園におけるアレルギー対応ガイドライン(以下「ガイドライン」という。)が2019年に改定されました。当園は認定こども園ですが、このガイドラインに沿ってアレルギーに対する対応をいたします。ガイドラインでは、『保育所は、アレルギー疾患有する子どもに対して、その子ども最善の利益を考慮し、教育的及び福祉的な配慮を十分に行うよう努める義務があり、その保育に当たっては、医師の診断及び指示に基づいて行動する必要がある。』と述べられています。

以下、今後のアレルギー対応についてご案内いたします。

Ⅰ.「生活管理指導表」について

・ガイドラインでは、『保育所において、保護者や医療医との共通理解の下で、アレルギー疾患有する子ども一人一人の状況等を正しく理解し、子どものアレルギー対応を適切に進めためには、保護者の依頼を受けて、医師(子どものかかりつけ医)が記入する②「保育所におけるアレルギー疾患有生活管理指導表」(以下「生活管理指導表」といいます。)に基づき適切に対応することが重要です。』と述べられています。

・保護者は年に1回②「生活管理指導表」に記入し、園に提出する必要があります。

・园が受け入れるアレルギー疾患有の対応について

・园が受け

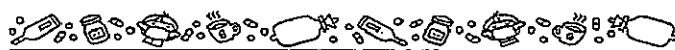
7. 薬服用について

園児が病気のために薬を服用する際は、保護者の手によって薬を与えることが原則とされています。主治医の診察を受ける時は、園では原則として薬の服用ができないことと、園児の在園時間帯を過ぎるような処方をお伝えください。しかし、時間帯を過ぎた処方が難しい場合や緊急時等、やむを得ず薬を持参して就園の場合は、万全を期すためご与薬依頼欄に必要事項を記載し、その内容を園と話し合いの上、担当保健教諭が保護者に代わり薬を投与することができます。

- ①薬は、お子さんを診察した医師が処方し製剤したもの、或いはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限ります。
- ②保護者の個人的な判断で持参した薬はおとして対応できません。
- ③連絡の用は原則として行いません。やむを得て使用する場合は医師からの具体的な指示書を添付してください。なお使用にあたっては、そのつど保護者に連絡しますので了承ください。
- ④初めて使用する薬については対応できません。
- ⑤熱が出たら飲ませる「熱が出たら…」、「発作が起つたら…」というように症状を判断して与えなければならぬ場合は、园では、その判断はできませんので、そのつど保護者がご連絡することになりますのでご承ぐください。
- ⑥慢性の病気(気管支喘息・てんかん・糖尿病・アトピー性皮膚炎などのよう)若者(長引くような病気)の、日常における与薬や処置については、幼少連携型認定こども園教育・保育要領によって、子どもの主治医または学校医の指示に従うとともに、相互の連携が必要です。

⑦持参する薬について

- ・医師の診断した薬(おこなはり)は「薬を飲む」と「発作が起つたら…」などに付けてください。なお、「薬剤情報提供券」がある場合には、それを添付してください。
- ・使用する薬は一回づつに分けて、当日分のみご用意ください。
- ・袋や容器にお子さんの名前を記載してお付け下さい。



8. 自然災害時の対応について

①暴雨警報もしくは特別警報が発令された場合

- ・午前7時現在、大阪市内に暴雨警報もしくは特別警報が発令された場合、臨時休園となります。
- ・大雨警報や洪水警報の場合は臨時休園ではありませんが、豪雨時に雨の状態が激しい時は場合や大和川の水位が高い場合は、保護者の判断で園園を見合わせてください。なお、園長の判断で臨時休園の場合があります。
- ・自然災害(大雨など)により大阪メトロ及び大阪シティバスが運転休止の場合、臨時休園となります。職員が出勤できず、法令等に遵守した安全な保育ができない場合のご承認ください。

②大きな地震が起きた場合

	震度4～震度5弱	震度5強以上
午前7時	午前7時現在、大阪メトロ(ニュートラムを含む)が運休している場合は臨時休園となります。	
○運休でない場合は、園舎等の安全確認後、保育開始となります。		○運休となります。
保育中	○運休後、園舎等に異常がない場合は、保育を再開します。 必ず保護者もしくは緊急連絡票に記載のある方のお迎えをお願いします。	○運休後、園にて待機となります。 必ず保護者もしくは緊急連絡票に記載のある方のお迎えをお願いします。

* 地震発生時は、通信手段の混雑で、連絡がつきにくくなることが想定されます。

- ・園への電話での問い合わせは、極力避けください。
- ・津波警報発令時は、お迎えに来られない方も津波警報解除まで園にて待機をお願いする場合もあります。
- ・想定している震度につきましては、あくまでも目安です。体感した揺れの大きさや被害の状況によって、実際の対応の仕方は変更する場合がありますので了承ください。



(2)保育の提供に要する費用にかかる利用者負担金等

①全員に対するもの

特定教育・保育の提供に要する利用者負担金(上乗せ微収分、実費分)

項目	内容、実指を求める理由及び目的	金額
給食費 1. 2号認定子ども	給食にかかる費用	月額 2,000円+副食費 内訳、主食費2,000円 副食費は園が定める割付費 微収免除加算月額と同額 ※参考 全和5年度4,800円
絵本代 1. 2. 3号認定子ども	絵本購入にかかる費用	月額410~470円
通園参加費 1. 2号認定子ども	遠足にかかる費用(交通費、入園料、 損害保険料等) 保護者による参加・不参加の選択制	令和6年度実績 ・年長児 5,000円 ・年中児 2,200円
教材費 1. 2. 3号認定子ども	教材費として(お道具箱、服箱、キャップ、ワーラップ)	入園時5,500円
父母の会費 1. 2. 3号認定子ども	保護者会活動や 衛生環境向上にかかる費用	月額 年長児クラス1,300円 その他クラス800円
制服費等 1. 2号認定子ども	制服やスマック等購入にかかる費用	必要額
入園準備料 1. 2. 3号認定子ども	施設整備等にかかる費用 ただし賃借料のみ	入園時10,000円
後援会費等附加金 1. 2. 3号認定子ども	施設整備等にかかる費用 ただし賃借料のみ	月額1,000円

②該当者(利用者のみ)にかかるもの

- 時間外保育や延長保育の利用料について
- すべて前月20日までの申請書提出が必要です。
- ◎保育標準時間認定子どもにかかる時間外保育料金について

- 7:30～9:00までの場合は 月額 3,000円 1回300円
17:01～18:30までの場合は 月額 3,000円 1回300円

ご利用を希望される場合は前月20日までに保育必要時間申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

* 許可されない保育必要時間を超えた場合 1回100円

18:31を超えた場合 1分につき16円+100円

◎保育標準時間認定子どもにかかる延長保育料金(月～金)

・18:31～19:00までの場合は 月額 2,000円

ご利用を希望される場合は前月20日までに延長保育事業利用申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

* 19:01を超えた場合 1回1分につき16円+100円

◎保育短時間認定子どもにかかる時間外保育料

・7:30～9:00までの場合は 月額 3,000円 1回300円

17:01～18:30までの場合は 月額 3,000円 1回300円

ご利用を希望される場合は前月20日までに保育必要時間申請書を提出の上、内容を確認後、利用の開始となります。

* 18:31を超えた場合 1分につき16円+100円

(3)料金の支払方法

保護者は社会福祉法人あしかひへ預金口座自動引き落としましては振込の方法で支払います。

(4)支払期日

保護者は前月25日(金融機関が休みの場合は翌日)までに社会福祉法人あしかひへ支払うものとします。ただし、4月分について4月25日(金融機関が休みの場合は翌日)まで、9月分については9月25日(金融機関が休みの場合は翌日)までに支払うものとします。

9. 子どもの衣類・身に着ける物等について

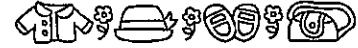
走ったり、跳んだり、踊ったり・色々な運動をして遊ぶ子ども達には、シンプルな服装が一番です。色んな装飾のある服装は、以下のようないわゆる危険があります。重大な事故につながるおそれがあります。以下にあげる衣類の着用や装飾品の持ち込みについては、禁止とさせていただきます。

○上着のフード ○首周り、上着、ズボンなどのひも

○フスナー(着用時、別に直接結ぶ場合) ○ストーン、スニーカー等が付いたもの

○ヘアピン、ヘアゴム、カチューシャ(ヘアゴムに関しては、0-2歳児は禁止です。3歳児クラスも小さいビニール製ゴムはお控えください。)

○外れかかっているボタン ○ミサンガ



10. 持ち物について

①持物すべてに(裏から着てる衣類、下着その他軽下等の小さな物1つ1つにも)、組名とお名前をフルネームで記入しておいてください。(組名のないものは紛失します。必ず記名しておいてください。)

②園の衣類を貯貯した際は洗濯の上、返してください。

③コップは毎日持ち歩きして洗浄しておけます。翌日も持めておいてください。

④ロイン、おもちゃ、キーホルダーナーは付けておかないでください。

⑤手提げ袋土産でお送りする袋や誕生日会のプレゼント等、その他の物を持ち帰る際に使用します。常時使用できますよう、毎日持たせておいてください。また、おもいを入れるために必ずビニール袋を入れておいてください。

⑥うめ組は毎日荷物をしますので、荷物を毎週末に持ち帰り翌週に必ず持たせておいてください。

11. おたより帳について

- ①おたより帳はご連絡のお手紙等をはさんでいますので、園や担任からの連絡事項がないか毎日ご確認ください。また翌日には必ず持たせておいてください。
- ②利用料金等の請求時にこのおたより帳を担任にお渡しください。

12. お弁当について

- ①行事の予備日。
- ②調理設備機器の故障により給食の実施ができない場合。
- ③道路状況により運搬が不可能の場合。
- ④アレルギー等で給食材料が困らなければお弁当日となります。お弁当のご用意をよろしくお願いします。

13. 園児緊急連絡票について

・園児緊急連絡票は

①万一のお子さんのけや事故が発生した場合の対応や、

②送迎者情報が記載された書類です。

たいへん重要な書類です、お引っ越しによる住所変更や、様々な事情による家族構成の変動(保護者の変更)があつた場合は、その事実が発生する前に必ず担任まで連絡ください。最近の事実に基づいて園児緊急連絡票の提出をお願いします。他園において離婚後の子どもの連れ去りの事件も発生しております。担任までの連絡や緊急連絡票の提出がない場合のトラブルにつきましては、園は一切の責任を負いませんので、すみやかにご対応をよろしくお願いします。

14. 利用料金の支払いについて

(1)特定教育・保育にかかる利用者負担(保育料)

支給認定を受けた市町村に対し、当該市町村が定める利用者負担額(月額)をたかさこども園にお支払いいただきます。ただし、月の途中で入退園する場合については、在籍日数に応じて割計算で算定します。

- 5 -

(5)料金の滞納

保護者が正當な理由なく利用料金を1ヶ月以上滞納した場合は、事業者は、90日以上の期間を定めて、料金を支払わないと場合に契約を解消する旨の催告をすることができます。

15. お子さんの介助や事故発生について

①保護者がご連絡いたします。治療開始は保護者の同意と来院が必要ですので、必ず連絡の取れる情報を記載してください。園からの緊急連絡には速やかにご対応いただきますよう、お勤めの事業所等にも事情をお話し、了解を得ておいてください。連絡や来院が出来ぬ治療ができない、または連絡が取れることが遅くなり、治療開始が遅れるなど、これらに起因するケースにつきましては、園は一切の責任を負いませんので、ご示知ください。

②保護者の方へ加入の健康保険を利用させていただきます。

③お子さんの安全と健廰に万全の配慮をし、日々教育及び保育を行っておりますが、不幸にしてけがや事故等が起こった場合、園が入る園児扶養責任保険の範囲内で保障させていただきます。

16. 退園について

保護者又は子どもの事情で中途退園する場合、保護者は退園予定日の前月1までに事業者に書面にて申し出るものとします。次の事由に該当した場合は、保護者は文書で事業者に通知することにより、この契約を直ちに解除することができます。

(1)事業者が正當な理由なく、特定教育・保育を提供しない場合

(2)事業者がこの契約に定める事項に違反した場合

(3)事業者が故意又は過失により子ども及び保護者の身体・財物・信用等を傷つけたとき、又は著しく不徳行為があつたとき、その他この契約を継続しがたい重大な事由が認められる場合

以上

- 7 -

- 8 -